

4月1日、美山地域の発展を担ってきた「美山ふるさと株式会社」と「ふらっと美山」を運営する「株式会社ネットワーク平屋」が合併し、新生「美山ふるさと株式会社」発足記念式典が美山農業振興総合センターで行われました。

新しい組織は4部10課となり、新たにマーケティング部を新設。「美山牛乳」などを使った新商品の開発や販売促進などの事業が展開されていきます。

式典で、同社の小島和幸代表取締役は「今年^{こしまかずゆき}は創立25周年の節目の年でもあり、新たな門出に喜びながらも、地域住民の期待に応えていきたい」とあいさつされました。



▲「美山牛乳」で乾杯し、新会社発足を祝う関係者ら

「これからの美山の発展に寄与する」

4 / 1 新生「美山ふるさと株式会社」発足記念式典



▲講演する中野氏と聞き入る参加者

3月18日、地域づくりに向けた、地域の会議や話し合いを活性化させる知識と技術を学ぶ「地域プロデューサー養成講座」を市が主催し、NPO法人テダスの運営で開催しました。

講師にワークショップ企画プロデューサーとして知られる東京工業大学の中野民夫教授を招き「みんなの気持ちを聞き出す、意見をまとめる、分かりやすく伝える」など、地域を担っていく者に大切なことを講演されました。また、参加者同士が等距離でワークショップができる「えんたくん」を使い、これからやっていきたい地域づくりやどんな南丹市にしたいかななどのテーマで話し合いました。



▲「えんたくん」を膝の上に置いてワークショップを行う参加者

「地域を担っていく人材を育成する」

3 / 18 地域プロデューサー養成講座

「食改さんとしての 一歩目を歩み出す」



▲これからの抱負を語る修了生

3 / 9 平成28年度南丹市
食生活改善推進員養成講座閉講式

昨年10月から半年間にわたり開いてきた食生活改善推進員養成講座の全課程を終え、3月9日、閉講式が市役所会議室で行われました。これまでの講座には子育て中の若いお母さんが多く参加され、全国でも例を見ない保育サポート付きの取り組みとなりました。

新たに食生活改善推進員となった修了生らは「講座で学んできたことを家族や友人、地域の方に広めて健康になっていただき、また次の世代にも引き継いでいきたい」など、頼もしい抱負を口々に語りました。